

南海粉浜駅(万葉歌碑)—生根神社—大海神社—住吉公園(大燈籠)—南海住吉駅—住ノ江駅—叡松原公園(万葉歌碑)—住吉大社—浅沢神社—大歳神社—種貸社—堺市役所(展望)



住吉の粉浜のしじみ
開けのみず
隠りてのみや
恋ひわたりなむ
作者未詳
巻6-997



生根神社

南海粉浜駅

大海神社



桜

マンサク
だそうです



住吉公園 東西を走る「汐掛道」
↓住吉大社の表参道だった

この撰津
名所図会の
高燈籠が
これですね

住吉の
敷津の浦の
なのりその
名は告りてしを
逢はなくも怪し
巻12-3076

この奥↓阪阪神高速15号線辺りまで海



高燈籠

住吉の
出見の浜の
柴な刈りそね
娘子らが
赤裳の裾の
濡れて行かむ見む
巻7-1274



出見の浜方面

住吉公園 昔は白砂青松の海浜

敷津の浦方面



叡松原公園



住吉大社に戻って



住吉に
齋く祝が
神言と
行くとも来とも
船は早けむ
多治比真人士
巻19-4243

あられ打つ
阿良礼松原
住吉の
弟日娘と
見れど飽かぬも
長皇子
巻1-65



埴輪古代船をかたどった歌碑



十数首の万葉歌



反り橋を渡る



角柱鳥居



細井川
海が近かった
昔をしのぶ



住吉の
浅沢小野の
かきつばた
衣に摺りつけ
着む日知らずも
巻7- 1361

<かきつばた>
咲いていました



末社 浅沢神社

小池の中の浅沢神社



末社 大歳神社

おいとぼし社
重軽石を持って
みました

末社 楠瑠社 初辰まいり

末社 種貸社

御伽草子 一寸法師
種貸社のお椀



二上山



行きて見て
来れば恋しき
朝香瀉
山越しに置きて
寝ねかてぬかも
巻11- 2698



浅香山駅

住吉の
遠里小野の
真様もち
摺れる衣の
盛り過ぎゆく
巻7- 1156



遠里小野 我孫子前駅付近

竹内街道へ↑

住吉の
岸に向へる
淡路島
あはれと君を
言はぬ日はなし
巻12- 3197

堺市役所21Fより展望



百舌鳥古墳群



2018/04/05 15:10